

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブあすなろ			
○保護者評価実施期間	2026年1月7日 ～ 2026年1月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2026年1月7日 ～ 2026年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しみに通っている	- 子ども達ひとり一人の好きなことや発達段階に合わせた遊びや活動を提供している。 - わくわく会議を開催し、子ども達がやりたい遊びや活動を話し合う機会を作るなど、子どもたちの自己決定と自己選択を尊重した関りを重視している。	- わくわく会議を開催し、子どもたちのやりたいことをキャッチできる体制を整えている。（自発性を重視） - 子ども達に活動計画を立ててもらいながら、実現にむけてのプロセスを学んでもらっている。（高学年向け）
2	施設環境が整っている	- 事業所が嘉手納町総合福祉センター内にあるため、活動の際にセンターの大集会室を借用している。 - 事業所のスペースが広いので、子ども達がのびのびと過ごせるようになっている。	中庭を整備することで、室内では出来なかったスポーツやその他の活動を充実させていく。
3	近隣の事業所との連携や地域交流を積極的に行っている	- 嘉手納町社会福祉協議会が運営しており、その関係機関や地域の方々との交流がしやすい。 - 嘉手納町内で放デイ連絡会を開催し、定期的に会議を持ち、イベント企画や情報共有を行っている。	今後も放デイ連絡会と連携して、研修やイベントの企画、避難訓練等、事業所の質を上げる取り組みをしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画などの事業所のマニュアルを家庭へ周知することが不足していた。	計画やマニュアルの数が多く、説明機会の調整が難しかった。	マニュアル等を電子ファイル化して発信するなどICTを活用していく。
2	遊びの中に療育的要素を入れていくスタンスなので、ただ遊んでいるだけに見えてしまう可能性。	療育的な要素、ねらいを分かりやすく説明することが不足していた。	遊びや活動のねらいを職員がていねいに説明できるようにしていきます。
3	保護者会などの家族交流の機会が少なかった。	保護者の皆様のニーズに沿ったイベントの企画が不足していた。	保護者の皆様が参加しやすい、参加したいと思うような企画を考えていきます。